

平成 2 8 年度 青少年問題協議会

会 議 次 第

開催日時：平成 29 年 2 月 17 日（金）

午前 10 時 30 分開会

開催場所：野田市保健センター3 階大会議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 委員紹介

4 議 事

（１）会長・副会長の選出について

（２）会議録等のホームページへの掲載について

（３）平成 2 8 年度 教育委員会の事業（青少年健全育成
に関する取組）について

（４）平成 2 9 年度 青少年健全育成の取組について

（５）その他

5 閉 会

No.	配布資料一覧
1	平成 2 8 年度教育委員会の事業（青少年健全育成に関する取組）について
2	平成 2 9 年度青少年健全育成の取組について
3	平成 2 8 年度野田市子ども安全情報について

平成 28 年度

教育委員会の事業（青少年健全育成に関する取組）について

青少年を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、青少年の健全育成及び非行防止を図るため、大きく三つの施策を推進いたしました。

- （１）青少年の健全育成活動の推進
- （２）青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進
- （３）家庭教育学級の充実

今年度実施しました諸事業は次のとおりです。

（１）青少年の健全育成活動の推進

○地区別懇談会の開催

・目 的

地域社会の青少年育成機能の弱体化や青少年育成団体の連携不足などの問題を解消するため、各中学校区内で活動している育成団体等が一堂に会し、子ども達の成長に関し情報交換や各団体間の事業調整などについて連携を図るもの

・実施状況

市内各中学校区において、次のとおり地区別懇談会を開催し、情報交換や意見交換を行いました。

H 28 年度 会議内容

① 第 1 回

（１）青少年問題協議会からの報告

「平成 28 年度青少年健全育成活動のテーマ」について

（２）学校、団体からの連絡事項について

② 第 2 回

（１）子ども安全情報の状況について

（２）学校、地域、団体からの報告

①各学校の今年度の取組状況と

児童、生徒達の様子（いじめ、不登校、非行等）について

②地域、団体から見た地域の子どもの様子について

（３）今後の取組についての意見交換

【テーマ】「子ども達を見守る時のサインの作成について」

- ・関係団体 中学校区内の育成団体等

番号	地区名	第1回開催	第2回開催
1	関宿中学校区	4月13日	11月30日
2	二川中学校区	5月20日	—
3	木間ヶ瀬中学校区	—	—
4	川間中学校区	—	11月30日
5	北部中学校区	7月13日	2月10日
6	岩名中学校区	4月26日	12月5日
7	第一中学校区	5月25日	11月28日
8	第二中学校区	4月14日	11月29日
9	東部中学校区	5月15日	—
10	福田中学校区	4月22日	12月3日
11	南部中学校区	4月29日	12月4日

※記入のない学区については、会議の日程調整がつかなかったため開催しておりません。

- ・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○オープンサタデークラブの開催

・目 的

土曜日に地域の教育力を活用した課外活動を行うことにより、子どもたちに体験を通じて「豊かな人間性の育成と共に規範意識を育む」場を創出するもの。

・実施状況

市内27会場で文化・芸術、体育の35講座を第1・第3土曜日の午前9時から11時まで、青少年健全育成団体等の協力により実施しました。児童・生徒が異年齢の方々と交流し社会性や人間性を育む絶好の機会となっています。

また、オープンサタデークラブのPR、クラブ相互の情報交換も兼ね、児童・生徒たちが一年間行ってきた活動成果を披露する「クラブフェスタ2017」についても本日、平成29年2月17日（金）から2月19日（日）の3日間、野田市郷土博物館・市民会館にて開催中です。

オープンサタデークラブ 登録者数 (平成29年1月21日終了時)				
	小学校	中学校	合計	前年比
在籍児童・生徒（a）	8,356人	4,007人	12,363人	△26
登録者数（b）	1,278人	17人	1,295人	+171
登録率（b/a）	15.3%	0.4%	10.5%	+1.4%

・関係団体

24団体等（18団体、個人講師6）

【野田柔道会、野田市剣道連盟、NPO 野田レク協会、アルファ岩名ジュニアバドミントンクラブ、川間ジュニアバドミントンクラブ、中根ジュニアバドミントンクラブ、野田市アマチュアゴルフ協会、野田現代邦楽アンサンブル、津久太鼓「響」、野田市茶道協会、野田いけばな協会、野田日舞連盟、横川礼法きもの学院、野田囲碁会、日本将棋連盟関根金次郎支部、生涯学習ボランティアサークル「ほのぼの会」、野田美術会、東京理科大学、個人講師6】

・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○柔剣道大会の開催

・目的

柔剣道を通して青少年の体位向上と心身の錬成を図り、青少年の健全な育成に寄与することを目的とするもの

・実施状況

平成28年4月17日（日）、野田市総合公園体育館において開催し、野田柔道会及び野田市剣道連盟による模範演技の後、柔道の部には52人、剣道の部には172人の参加をいただき部門別個人戦、団体戦が行われ、それぞれ白熱した試合が繰り広げられました。

・関係団体

青少年相談員連絡協議会・青少年補導員連絡協議会・野田柔道会・野田市剣道連盟・小中学校体育連盟

・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○子ども釣大会の開催（同時開催：障がい者釣大会）

・目的

自然の中での釣り体験を通し、子どもたちに社会活動、自然の大切さ等を教え、また、障がい者と健常者との交流の場を作り福祉増進にも努めようとするもの

・実施状況

平成28年6月4日（土）、旧関宿クリーンセンター調整池において開催し、129名の子ども達の参加がありました。自然の中、親やお友達、そして大会関係者等と親睦、交流を深め、楽しい一日を過ごすことができました。

子ども釣大会実行委員会

【野田市釣会連合会、野田錦鯉同好会、野田市子ども会育成連絡協議会、あおいそら運動推進委員会、東葛北部土地改良区事務所】

・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○こどもまつりの開催

・目的

子どもたちにより良い遊びと創造の文化を与え、みんなで子どもたちを守り、健全な地域社会を作るもの

・実施状況

平成28年10月23日（日）、清水台小学校において開催しました。子どもまつり実行委員会を構成する青少年健全育成団体16団体が、子ども達のためのアトラクションコーナーを企画運営し、そこで子どもたちの仲間作りや体験活動、地域や世代間の交流等が展開され、約800人の子ども達、保護者達が楽しい一日を過ごしました。

・関係団体

こどもまつり実行委員会

【野田市子ども会育成連絡協議会・野田市リーダースクラブ、清水地区子ども会連絡協議会、野田スカウト連絡協議会・ボーイスカウト野田第5団、ガールスカウト千葉県88団、野田市青少年相談員連絡協議会、野田市民生委員児童委員協議会、野田レクリエーションクラブ、NPO野田レクリエーション協会、野田地区更生保護女性会、野田市視覚障がい者協会、生涯学習ボランティアサークルほのぼの会・クラフトくらぶ、小中学校PTA連絡協議会、笑紫会、NPO学区安全サポートクラブ、野田醤油一番隊、清水地区社会福祉協議会】

※アトラクション参加協力

開会式：清水台小学校吹奏楽部

お 昼：ぱっぱか獅子舞保存会

ユニサイクル清水隊（一輪車）

- ・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○少年野球教室の開催

・目 的

市内の少年野球チームの指導者及び子どもたちを対象に少年野球教室を開催することで、生涯学習としての地域スポーツの振興と青少年の健全育成を図るもの

・実施状況

平成28年11月27日（日）、野田市総合公園野球場において開催し、指導者として招いた法政大学野球部真木コーチ及び野球部員42名から、少年野球チーム15団体、中学校野球部11校の子どもたち235名、少年野球チーム及び中学校野球部の指導者60名の計295名が野球の指導を受け、普段は決して接する機会のない方と交流すると共に、野球技術の習得、規範意識の向上を図ることができました。

・関係団体

野田市少年野球連盟

運営協力（ボランティア）

西武台千葉中、高等学校混成による吹奏楽部、ダンスドリル部 84人

西武台千葉高等学校野球部によるグラウンド整備等 53人

- ・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○ふるさと伝承講座の開催（世代間交流事業）

・目 的

小中学校を会場に地域の育成者や関係団体の協力を得て、昔から伝えられてきたふるさとの文化や習慣・風俗を伝承することにより、世代間の交流を深めようとするもの

・実施状況

学校支援地域本部 地域教育コーディネーターとの協働により地域の人材をご紹介いただき実施いたしました。

今回は、平成28年12月19日（月）、1月28日（土）の2日間、東部小学校において開催し、12月19日は6年生2クラス54名を対象に、野田市茶道協会の皆さんに茶道の講義と実演体験により受け継がれる日本人の心「礼法を学ぼう」を実施しました。

そして、1月28日にはイートの会の皆さんに千葉県の郷土料理「太巻寿司」作りの体験を通して、日本の食文化に関心を持ってもらおうと共に世代間の交流を特別支援学級の16名、保護者15名を対象に、開催し有意義な時間を過ごしました。

・関係団体

野田市茶道協会 会長 蓬萊 宗玲 他3名
イートの会 代表 中野 満佐子 他9名

・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○親子映画会の開催（第34回）

・目 的

親子のふれあいを深めるとともに子どもの情操を養うために実施するもの

・実施状況

平成29年3月5日（日）午後1時より野田市文化会館大ホールにおいて開催する予定。

ユニバーサルスタジオ制作の大ヒット

「怪盗グルー」シリーズの第3作目 「ミニオンズ」(DVD)を上映し、親子のふれあいの機会を設け、子どもの情操教育を養うべく実施いたします。

・関係団体

野田市子ども会育成連絡協議会

・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○ジュニアリーダー養成講習会の開催

- ・ 目 的

子ども会のリーダーとしての役割やレクリエーション、野外活動等を習得させるために実施するもの

- ・ 実施状況

平成28年度は、子ども会会員15名（小学4年生4名、5年生8名、6年生5名）が受講し、1月末現在、全12回中9回の講習会が終了しています。その中で「奥久慈県立自然公園 山本公園キャンプ場」での2泊3日の野外実習も実施されており、ジュニアリーダーの育成が図られています。

- ・ 関係団体

野田市子ども会育成連絡協議会

- ・ 29年度も引き続き、実施してまいりたい。

(2) 青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進

○非行防止のための街頭補導

・目的

青少年の非行防止を図るため、街頭補導を積極的に行うもの

・実施状況

青少年センターでは、定期的に大型店・ゲームセンター等の街頭補導を実施し、非行防止及び声掛け運動が推進できました。

また、青少年補導員との合同により地域の実態を考慮しながら、集中的な街頭補導を実施することができました。

さらに、例年実施している県下一斉合同パトロールとして、中央地域を対象とした夜間街頭補導、列車補導、駅周辺集中街頭補導も実施しました。

街頭補導実施状況

(平成 29 年 1 月 31 日現在)

補導時間帯	補導少年数 (人)			回 数 (回)	従事者数 (人)
	男	女	計		
午前(7時～11時)	12	7	19	292	683
午後(2時～5時)	12	13	25	300	751
夜間(6時～9時)	2	2	4	32	188
計	26	22	48	624	1,622

- ・29年度も引き続き、非行防止を図るため活動してまいりたい。

○環境浄化活動の実施

- ・ 目 的

青少年の健全育成を阻害するような環境を浄化するもの

- ・ 実施状況

平成28年12月17日（土）青少年センター、青少年補導員、青少年相談員の三者合同による環境浄化活動（市内の電柱に貼られている違法ビラの撤去活動）を実施しました。

近年、違法ビラが少なくなってきたため、市内の状況を確認しながら実施いたしました。

環境浄化活動（違法ビラ撤去）

（平成28年12月17日実施）

違法ビラの撤去	回数	枚数
補導員・相談員	1	22

- ・ 関係団体

野田市青少年補導員連絡協議会、野田市青少年相談員連絡協議会

- ・ 29年度も引き続き、環境浄化を図るため活動してまいりたい。

○子ども安全情報の配信

・目 的

学校や野田警察署からの不審者情報を共有し、家庭・学校・地域が連携して児童生徒を犯罪から守ろうとするもの。

・実施状況

不審者情報を配信することで、家庭、学校、地域が情報の共有を図り、児童生徒の安全・安心に努めました。

平成29年1月31日現在の「まめメール子ども安全情報」の登録者数は、14,781件で昨年度の同時期と比較して80件の増となっています。

次に、配信状況ですが昨年度の年間配信件数は全部で31件。1月末と比較しますと、露出が7件（昨年度6件）、声かけが18件（昨年度10件）と、今年度の発生件数が大きく増加していることから、全体の配信件数は11件増の34件（昨年1月末23件）となっており、特に木間ヶ瀬地域で発生した3件の不審者事案の内容や発生地域から同一犯の可能性が高い事案について、野田警察署に報告し早急に検挙していただくようパトロールの強化を含めお願いいたしました。

また、青少年健全育成団体が一堂に会する地区別懇談会及び地域で開催される会議等に参加させていただき不審者に遭遇した或いは不審者を目撃した場合は、警察署にまず一報のご協力をご参集の皆様方をお願いしてまいりました。

・啓発「まめメール子どもの安全情報 登録推進」

平成29年4月に入学する新小学1年生の保護者に対し子ども安全情報の配信状況及び加入促進のお知らせの案内を学校を通じて入学説明会等に配布いたしました。（入学予定者1,372人）

登録者件数 14,781件

情報配信数 34件(前年1月末23件)

(平成29年1月31日現在)

・29年度も引き続き、実施してまいりたい。

○情報モラルに関する講演会

・目 的

平成28年度青少年健全育成活動のテーマの一つである「子どもたちが安心できる社会環境づくり」の推進活動事業として、インターネット（特に携帯電話・スマートフォン等によるもの）の危険性について、実際に自分の携帯電話等を使い子どもたちがよく利用しているサイトの実態を知り、地域・家庭内でのペアレンタルコントロール能力の向上を目指すもの。

・実施状況

開催日 平成28年7月3日（日）

参加者 56名

講 師 NPO法人青少年メディア研究協会 下田真理子先生

第一部 講 演

「低年齢化するインターネット利用問題」

1. インターネットとは
2. ネット利用問題の変化と病的なネット依存
3. 低年齢化するネット利用問題
4. ますます必要になるペアレンタルコントロール

第二部 ワークショップ

1. ご自分のスマホを使いVRアプリ体験
2. ネット端末利用（スマホ・ゲーム機）のための約束事について話し合う

子どもたちが利用しているネット情報の現状に触れ、大人（保護者）が携帯・スマホ等を利用する子どもたちに無関心ではいけないことや、ネット犯罪が年々変化し対応が難しい現状を踏まえ、ペアレンタルコントロール能力の向上を推進しようと努めました。

- ・啓発 市内の新中学1年生となる生徒の保護者に対しスマートフォン等を子どもに買い与える際の家庭でのルール作り、フィルタリング機能の活用に関するチラシを入学説明会等に学校から配布いたしました。（入学予定者1,334人）

- ・29年度も引き続き、啓発及び大人の監視能力の向上を図るため実施してまいります。

※ ペアレンタルコントロールとは、子どもによるパソコンや携帯電話などの情報通信機器の利用を、**親が監視して制限する取り組み**のことである。最近ではテレビゲーム機で遊ぶ時間の制限なども、このように呼ばれることがある。

(3) 家庭教育学級の充実

○家庭教育学級の開催

・目的

家庭や家族を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭の教育力の低下が指摘されていることから、家庭教育の振興を目的として、保護者を対象に家庭教育に関する講座や講演を実施するもの

・実施状況

■家庭教育学級の開催

幼児及び小学生の保護者を対象に、連続講座を開設し家庭での教育力の向上を図るもの。

・家庭教育学級の実施

- ① 小学生の保護者を対象に 20 小学校を八つのコース（地域）に分け、各公民館で延 45 回の講座を実施し、延べ 5,475 人の参加がありました。
- ② 幼児（3～5 歳）の保護者を対象に中央公民館・関宿中央公民館で 11 回の講座を開設し、延べ 262 人の参加がありました。

■就学時健康診断時家庭教育講演の開催

小学校入学前児の保護者を対象に、家庭教育の必要性を理解してもらうとともに、基本的生活習慣の啓発を図るもの。

・就学時健康診断時家庭教育講演の実施

全小学校を対象に計画し、保護者に基本的生活習慣や入学までの心構え等についての講演を実施しました。延べ参加者数は 1,171 人でした。

■出前家庭教育講演の開催

中学生の保護者を対象に、家庭教育のあり方と親子の関わり方や思春期の子どもの健全育成と問題行動の防止等についての啓発を図るもの。

・出前家庭教育講演の実施

中学校行事で保護者が集まる機会を利用して家庭教育のあり方と親子の関わり方や思春期の子どもの健全育成と問題行動の防止等についての講演会を実施しました。全中学校を対象に計画しておりましたが、川間中学校が都合により講演会の開催がなかったため、10 校で実施し、延べ参加者数は 1,411 人でした。

- ・ 29 年度も引き続き、実施してまいりたい。

平成 29 年度青少年健全育成の取組について

1 これまでの経過について

教育委員会では、平成 18 年度から、各中学校区において子どもの健全育成にご尽力、ご協力いただいている団体の皆様にお集まりいただき、青少年健全育成団体地区別懇談会を開催しています。懇談会では、学校、家庭、地域における子ども達の様子や、各地域で実施されている子どもたちの健全育成に係わる事業についてお話しいただき、子どもの健全育成に関する活動の現状や課題などについての意見交換を行っています。

平成 19 年度は、地区別懇談会からの意見をもとに青少年問題協議会で議論いただいた内容を「地域・家庭・学校における青少年健全育成活動について」と題し提案書としてまとめ上げ、これを各地区別懇談会において提案させていただきました。

また、平成 20 年度からは、地区別懇談会で出された意見を参考に、青少年の健全育成活動を推進するための「青少年健全育成活動のテーマ」を毎年見直し、これを青少年問題協議会においてご審議いただいた上で、野田市全体の推進テーマとして各地区別懇談会に報告し、あらためて地域の皆様に青少年の健全育成に向けての更なるご協力をお願いしてきています。

そしてまた、今年度の地区別懇談会では、マスコミでも度々取り沙汰されるいじめ、不登校、非行等の実態についても学校からお話をいただき、現在の学校の状況、地域にやっていただきたい事、やるべき事等をあらためて再確認するとともに、あいさつ、声掛け等を推進する方法についても話し合い、今後の推進方策の手がかりも幾つか見つかってきています。

そうした中で見えてきているものは、やはり、大人ひとりひとり、保護者ひとりひとりの意識が高まれば、地域もより一層良くなり、子ども達もより一層健全に育つということ、そして、それを理想ではなく目標として掲げ、家庭、学校、地域、団体等は青少年健全育成のための活動をさらに盛り上げ、時には相互に連携しながら継続的に取組んでいかなければならないということが明らかになってきています。

2 地区別懇談会からの意見について

平成28年度の学校・家庭・地域における子ども達の様子、そして学校・地域・団体の青少年健全育成活動状況等を把握するため、地区別懇談会を開催し、学校、PTA、自治会、各種団体の代表者の方々から、それぞれの青少年の健全育成を図るためにどんな取り組みをし、日頃どういったことを感じ、またお考えになっているのかをお伺いしたところ、現在実施している活動、抱えている課題、地域の状況について様々な意見が出されました。

そこで、今回もこれらの意見を「平成28年度の青少年健全育成活動のテーマ」に沿って分類し、整理いたしました。

テーマ1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

学校では、市が流す「夕焼け小焼け」を合図に、家に帰るよう指導している。ですから、暗くなったら帰るように声を掛けていただき、頻繁に続くようなら、学校に連絡をしてもらって差し支えない。(第一中学校区)

昨年、道交法が改正され、自転車の安全な乗り方についての罰則が出来た。学校では自転車の乗り方のコンクールであるとか機会を見つけては一生懸命やっていたが、一般の大人の方がルールをわかっているにも関わらず、ルールを無視して乗っている。大人がお手本にならなくてはいけない。(第一中学校区)

最近是不審者等が多いので、小さなお子さんに声を掛ける方が少なくなっている。そういった点で、先生方、地域の方の努力が大切だと思う。私達も子ども達が少ないから補導活動をやらないというのではなく、今後も引き続き活動していきたいと考えている。声掛け運動は、犯罪の抑止力にもなるので、今後も続けていきたい。(第二中学校区)

心を育てるという事で、特にあいさつをするよう呼びかけており、このところ地域の方からも「よくあいさつができますよ」という報告を色々な形でいただくようになりました。先日は、近所の方がうちの妻にわざわざ声を掛けていただいて、「中央小の子ども達は、こんな私にまで毎日あいさつをしてくれて、私は元気をもらえるんです」と言っていたそうです。(第二中学校区)

防犯パトロールをしている時は気軽に声を掛けられますね。でもやっぱり制服を脱ぎ私服になると、やはり、誘拐であるとか悪戯といった事件があるので、声は掛けづらい。
(第二中学校区)

地域の防犯をやっている方を知るという意味では、例えば何かの行事の時に来ていただいてご紹介するというのも、先程の発言を受けて学校はそういう努力をしなくてはいけないのかなあということは、自分は思いました。(第二中学校区)

声掛けをするにも難しい点は多々あるが、通常の声掛けであれば互いが顔を憶えるということで、とても大切な事と考えていますので、今後も子ども達に愛ある声をお掛けいただくよう、お願いしたい。(川間中学校区)

私どもがユニフォームを着て、その上に防犯ベストを着ているのですが、大人の方とすれ違うと、ご苦労様と声を掛けていただける。それが当然と言えば当然なのかもしれないですけれども、やはり安心して見ていられる、信頼を持たれる、そういったものがないと、言葉を掛けられるといったことはまずないと思う。(関宿中学校区)

3時から4時にスポーツ公園を歩いていますけれども、子ども達は大体あいさつをしますね。ただ、大人の人はあいさつをしない人がいるんだよね。私も、なるべく、1人だと誤解されるから、女房と2人で歩いていますけれども、実際こういったサインを付けることもいいかもしれない。(福田中学校区)

学校では、今年は生活習慣、学習習慣を身に付けさせようということを職員たちの合言葉としてやっており、あいさつに力を入れています。学習習慣の方も、人の話をきくであるとか、本当の基本のところですけども、そこのところからきちっとやろうという事で、生徒指導主任を中心として生徒指導の方で、毎回、職員が共通の理解をしながら、確認しながら進めている(福田中学校区)

岩名中地区別懇談会では、あいさつをしっかりやっていこうという事で、あいさつ運動の宣言をしている。(岩名中学校区)

子ども達に顔を憶えてもらえるように色々なところに顔を出すことが大切だと思います。
(岩名中学校区)

テーマ2 地域における健全育成活動の推進

4年生が総合的学習の一環でリーダーシップを取って、全校で落葉掃きを朝やっている。校長の視点からすると、学力が当然第一なのだが、子ども達が仲よく汗をかいて学校を綺麗にしていくということ、それが非常にすばらしい学びとなり、自立へと繋がるのだろうと考える。(第一中学校区)

放課後、公園で遊ぶ子が多い。そんな訳で、よく自転車の乗り方が悪いとか、ゴミを散らかすといったご指摘をいただく。皆さんもこうしたことを見掛けた場合は、遠慮なく注意していただくなり、学校に連絡をしてきていただきたい。(第一中学校区)

地域の運動会にお邪魔すると、本校の生徒が役員、あるいは補助として活動している光景をいくつも見掛けた。こうした係わりも大切と考える。(第二中学校区)

非常に豊かな環境が川間地区にある。また、五駄沼、はきだし沼もあり、野田市を代表する動物の宝庫。子ども達から大人達まで巻き込む、生物多様性の会議といいますか、環境まつりが実現したらいいかなとちょっと提案をさせていただいて終わりたいと思います
(川間中学校区)

今学校の図書館をちょっときれいにしようということで、地域の方のボランティアさんが入って下さって、図書館を今整備して下さいます。凄く有難いことです。
(関宿中学校区)

地域の自治会長、実行組合長さんを主体に畑の先生をやらせていただいています。お陰様で、木野崎地区としては、実情は、実行組合長が行きますので、おじいちゃんなんです。そのうちのおじいちゃんとお子さん達という形もありますし、地域のどここのおじいちゃんがいるとか、やはり、学校と地域の人達との繋がりの方が大事です。自治会もそうなんですけれども、私も社会福祉協議会の方もかかわっていますので、その中でも子ども達と様々なふれあいの場をセットしております。(福田中学校区)

図書ボランティアの方に来ていただくようになって、子ども達がその方達と接しているのを見てみると、とてもいい関係が出来ていると感じている。今は核家族化が増えており、先生、親以外の方と話す機会というのは大変貴重だと思っています。(福田中学校区)

岩名中はお陰様で30周年を迎えることができた。

3年生は伝統芸能を大切にしていきたいという事で学校生活を送っている。

子ども達の7割が地域活動に参加している。(岩名中学校区)

テーマ3 子ども達が安心できる社会環境づくりの推進

不審者情報については、判明した時点で詳細を聞きとり、それを警察に連絡し、保護者の方にもお知らせし（校内メール）注意を呼びかけている。（第一中学校区）

保護者の方、ボランティアの方に子ども達の登下校を見守っていただく中で、自転車の無灯火であるとか、下校時の歩行の仕方についてご指摘をいただいている。子ども達の安全について地域の方からご指摘を頂くという事は、大変有難いお話なので、我々もしっかり受け止め指導していきたい。（第一中学校区）

音楽の演奏であるとか、部活動における小学校との交流であるとか、そういう中で、子ども達を地域の人達に憶えていただけるようにという事で実践している。お互いに顔を憶えあう事が、子ども達の安全に繋がると考える。（第二中学校区）

毎日立哨いただいている指導員さんでも、制服を着ているから子ども達も朝認識するけれども、指導員さんが制服を脱いじゃうとなかなか、顔は見えていても、姿、形が違うという事であいさつしないという事があるみたいです。（第二中学校区）

防犯の方、いきいきクラブの方、ベストや腕章をつけるといった事をしていただいていると子ども達も安心してあいさつができる。

活動服等を身に付けていない時は、多くの大人が声を掛けづらくなり、子ども達もびっくりしたり、警戒したりといった事が多々ある。（川間中学校区）

自転車通学が6割ということで、自転車事故が心配。大きな事故はないがちょっとした接触事故が今年も2件あった。交通安全教室を実施し、安全について呼びかけているところですが、通学区も広いので、見守りのほうよろしくお願いします。（川間中学校区）

今年から始めさせてもらったのは、小学生と中学生が何かの時に合同で下校するといったような試みをしてみた。きっかけとなったのが、6月に二川中学校の近辺でバットを振り回しているという不審者、犯罪者がいたという事件です。

自分の地域に住んでいる小学生低学年の子の顔も知らなかった子もいたのですが、「こんな子もいたんだ」ということで知ったりして、私は意義があったのかなと思っています。

（関宿中学校区）

一番いいと思うのは、ニッ塚小学校区の高齢者の方が同時に散歩していますよね。あれはいいと思いますね。でも木野崎の方では難しいですね。（福田中学校区）

3 健全育成活動を進める上での「着目点」

今年度の地区別懇談会等での意見を見ると、今後に向けての新たな取組、活動を行う上でヒントとなるような意見が出されています。

まず、テーマ1の「学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進に関連するものとしては、あいさつの重要性。そしてこれが一部では推進されているものの、家庭、地域ではまだ不十分であるということ。

昨年は、地域全体で「あいさつ、声かけ、会話」を推進するにあたって、接する大人が安全な大人か見分けるサインとなる物（リボン、バッチ、腕章等）を作るといった意見について、今回の皆さんからの意見は必要と思う意見と目印が悪用されると心配があるとの意見があり、引き続き検討が必要との意見や子ども達との交流により地域の大人と子供がお互いの顔を覚えることが必要との意見がありました。

また、テーマ2の「地域における健全育成活動の推進」に関しましては、地域のイベントには子ども達が積極的に参加するよう学校も地域も考え実施していること、そして、ただ単に参加するだけでなく、地域の方々と一緒に活動し、子ども達に色々な経験を踏ませることで、信頼感が生まれ地域全体が活気あるものとなるといった意見がございました。

テーマ3の「子ども達が安心できる社会環境づくり」につきましては、子ども達を犯罪、事故等から守る地域と連携した見守り活動が引き続き必要であること。

ここでも、大人と子供たちの顔をつなぐことで安全安心につながるといった意見がありました。

以上のことを踏まえ、来年度は別紙のとおり3つのテーマを推進していくことにいたします。

■今回の地区別懇談会から見えてきた健全育成活動を進める上での「着目点」

○あいさつは、家庭や学校では勿論の事、地域内の絆をも強める。

○学校、家庭、地域が連携し、大人が積極的にあいさつ、声掛けをするよう推進する。

○安全な大人のサインについて今後も考えると共に、あいさつ運動を推進し安全安心な地域環境づくりを目指す。

○子ども達と地域の方々が色々な形で交流を深め、お互いの顔を知ることがとても大切。

○地域、保護者、学校は互いに連携し、交通安全、事故防止に配慮しつつ、不審者、犯罪者から子ども達を守る見守り活動を継続する。また、子ども達自身の様子、家庭環境についても、見守り活動と捉え注視する。

(案)

平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

青少年の健全育成活動を推進するためには、大人の意識改革並びに子どもたちへのさらなる見守りが重要であるという考えのもと、昨年に引き続き以下の三つの活動を今年度も推進します。

- 1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進
- 2 地域における健全育成活動の推進
- 3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

次代を担う子ども達を導き育むのは、私達大人の責務です。子育てや地域活動のあり方について今一度見つめ直し、大人としての意識を高め、親はもちろんの事、地域の大人達が積極的に「あいさつ」や「声かけ」そして「会話」を実践していくことが重要となります。大人ひとりひとりが家庭や学校そして職場であいさつをし、それを地域全体で広め明るく健全な地域社会をつくるよう心掛ける必要があります。

- 家庭は全ての教育の出発点であり、規則正しい生活を大切にまずは親が率先してあいさつをし、その日の出来事について話をするといった家庭環境を作る。その中で、子どもがきちんと家庭でのルール、社会でのルールを身に付けられるような家庭教育を実践する。
- 学校、保護者、自治会、青少年育成団体は、それぞれの実情を理解し「あいさつ・声かけ運動」をより一層推進するとともに、子どもの行動に目を配り、状況によっては褒める、叱るといったことも実践する。
- 「地域全体で取組むあいさつ運動」を地域のスローガンとして提唱し、地域でイベント等を行う際は、あいさつを唱和するなどの時間を設け、地域全体で推進していることを確認、啓発していく。また、あおいそら運動推進委員会が実践している「あおいそら運動」、千葉県が実施している「青少年を健全に育てる運動」と連携を図り推進する。

2 地域における健全育成活動の推進

毎年各地域において、学校、PTA、青少年育成団体等が相互に連携し、子ども達を巻き込んだ事業を活発に展開しているが、これまで以上に参加者が広がり、世代間のつながりのある地域となるようさらなるネットワークを活用して、大人から子どもまで多くの方々が地域活動に参加し、交流を深めることができるよう取り組みます。

- 地域の青少年健全育成に関する多様な意見に対応するため、学校支援地域本部、公民館、地域団体等が連携し、情報を共有するとともに、新たな地域の取り組みに対し積極的に協力する。
- 地域行事を青少年の健全育成と結びつける為、各参加団体との連携を密にするとともに、子ども達が好奇心を持って参加できるような仕事、役割を与える。
- 野田市には他市にはない歴史、自然環境がある。それらを活用した野田の特色ある地域行事を実施し、子ども達の郷土愛を育む伝統文化の継承そして世代間の交流をはかり明るい地域づくりを目指す。
- 地区別懇談会を通じて、各団体の行事、教育委員会行事について周知し、場合によっては相互調整や情報交換を行う。

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

携帯電話、スマートフォン等の普及により、子ども達を取り巻く環境は大きく変化し、インターネットによるトラブル、事件等が増えています。また、今年度は子ども達の交通事故が増えており、不審者もその数は増加しており相変わらず出沒するといった状況です。大人はこうしたトラブル、事件、事故等から子ども達を守る責任があります。そのために、インターネットの危険性について学ぶと共に、交通安全、事故防止、不審者対策、非行防止等、様々な観点から子ども達を見守り、安心安全な社会環境が実現できるよう取り組みます。

- インターネットの危険性を保護者に周知し、それを日常生活の中で子ども達に教育する。そんな家庭教育をめざし、実習を交えた講習会を実施していく。また、各青少年健全育成団体等に対しても、同様に啓発するものとする。
- 不審者情報を配信することで、子ども達の安全安心を守るための意識高揚を促す。また、その効果を上げるため、メール登録者が増えるようPR活動に努める。
- 地域安全マップを活用し、事件、事故、非行防止等の見守り活動を推進する。
- 青少年センターが実施しているパトロールについて、不審者出沒場所、時間帯の傾向、および青少年の非行行動に対応した市内重点パトロールを臨機応変に実施する。
- 子ども達を見守る上で、効果の上がる方策について検討する。(サインの作成等)

平成28年度 青少年健全育成活動のテーマ

青少年の健全育成活動を推進するためには、大人の意識改革並びに子どもたちへのさらなる見守りが重要であるという考えのもと、昨年に引き続き以下の三つの活動を今年度も推進します。

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

2 地域における健全育成活動の推進

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

次代を担う子ども達を導き育むのは、私達大人の責務です。子育てや地域活動のあり方について今一度見つめ直し、大人としての意識を高め、親はもちろんの事、地域の大人達が積極的に「あいさつ」や「声かけ」そして「会話」を実践していくことが重要となります。大人ひとりひとりが家庭や学校そして職場であいさつをし、それを地域全体で広め明るく健全な地域社会をつくるよう心掛ける必要があります。

- 家庭は全ての教育の出発点である。まずは親が率先してあいさつをし、その日の出来事について話をするといった家庭環境を作る。その中で、子どもがきちんと家庭でのルール、社会でのルールを身に付けられるような家庭教育を実践する。
- 学校、保護者、自治会、青少年育成団体は、それぞれの実情を理解し「あいさつ・声かけ運動」をより一層推進するとともに、子どもの行動に目を配り、状況によっては褒める、叱るといったことも実践する。
- 「地域全体で取組むあいさつ運動」を地域のスローガンとして提唱し、地域でイベント等を行う際は、あいさつを唱和するなどの時間を設け、地域全体で推進していることを確認、啓発していく。また、あおいそら運動推進委員会が実践している「あおいそら運動」、千葉県が実施している「青少年を健全に育てる運動」と連携を図り推進する。

2 地域における健全育成活動の推進

毎年各地域において、学校、PTA、青少年育成団体等が相互に連携し、子ども達を巻き込んだ事業を活発に展開しているが、平成28年度もこれまで以上に参加者が広がり、つながりのある地域となるようさらなるネットワークを活用して、大人から子どもまで多くの方々が地域活動に参加し、交流を深めることができるよう取り組みます。

- 地域の青少年健全育成に関する多様な意見に対応するため、学校支援地域本部、公民館、地域団体等が連携し、情報を共有するとともに、新たな地域の取り組みに対し積極的に協力する。
- 地域行事を青少年の健全育成と結びつける為、各参加団体との連携を密にするとともに、子ども達が好奇心を持って参加できるような仕事、役割を与える。
- 野田市には他市にはない歴史、自然環境がある。それらを活用した野田の特色ある地域行事、ふるさと伝承講座を実施し、伝統文化の継承そして世代間の交流をはかり明るい地域づくりを目指す。
- 地区別懇談会を通じて、各団体の行事、教育委員会行事について周知し、場合によっては相互調整や情報交換を行う。

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

携帯電話、スマートフォン等の普及により、子ども達を取り巻く環境は大きく変化し、インターネットによるトラブル、事件等が増えています。また、今年度は子ども達の交通事故が増えており、不審者もその数は減っているものの、相変わらず出没するといった状況です。大人はこうしたトラブル、事件、事故等から子ども達を守る責任があります。そのために、インターネットの危険性について学ぶと共に、交通安全、事故防止、不審者対策、非行防止等、様々な観点から子ども達を見守り、安心安全な社会環境を実現することを目指します。

- インターネットの危険性を保護者に周知し、それを日常生活の中で子ども達に教育する。そんな家庭教育をめざし、実習を交えた講習会を実施していく。また、各青少年健全育成団体等に対しても、同様に啓発するものとする。
- 不審者情報を配信することで、子ども達の安全安心を守るための意識高揚を促す。また、その効果を上げるため、メール登録者が増えるようPR活動に努める。
- 地域安全マップを活用し、事件、事故、非行防止等の見守り活動を推進する。
- 青少年センターが実施しているパトロールについて、不審者出没場所、時間帯の傾向、および青少年の非行行動に対応した市内重点パトロールを臨機応変に実施する。
- 子ども達を見守る上で、効果の上がる方策について検討する。(サインの作成等)

平成28年度 野田市子ども安全情報について

資料3

○平成29年1月31日現在

子ども安全情報登録件数 14,781件

子ども安全情報配信件数 34件

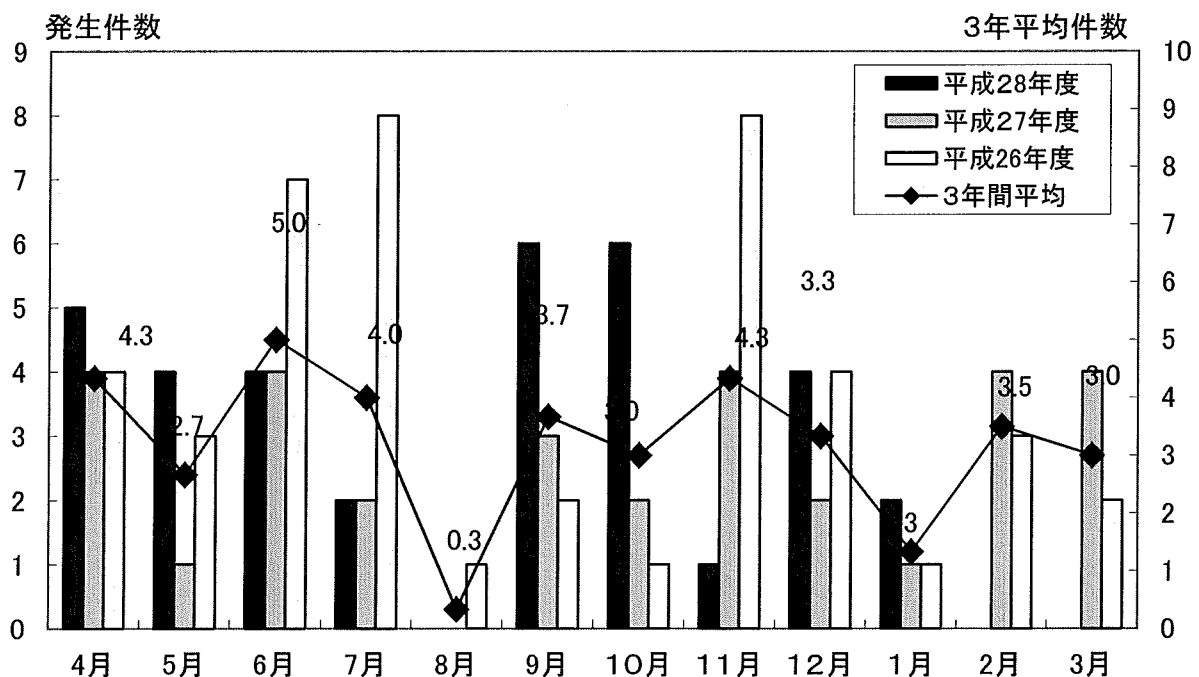
○種類別不審者情報件数

不審者の種類	分類	平成28年度	平成27年度	平成26年度
刃物を持っている・脅される	刃物を持ち歩く・脅される 傷つけられる		1 ※注1	2
強盗	強盗犯が逃走中・強盗に遭う			
車に引き込まれる	車に引き込まれる・引き込まれそうになる			2 ※注1
殴られる・蹴られる	殴られる・蹴られる			1
体をつかまれる・倒される・触られる	体の一部をつかむ・抱きつく・はかいいじめされる	1	5	1
	倒され首を絞められる			
	倒される・倒されそうになる	2	2	
	体の一部を触る・押される	4	2	1
	下半身を触られる			
液体等をかけられる	スプレーを噴射される			
追いかけるられる	追いかけるられる・ついてこられる	2	4	3
	自転車・自動車で追いかけるられる			2
不審者がうろついている	下半身、全身露出	7	6	12
	写真・映像を撮られる		1	
	所持品を奪う			
	怒鳴る・声をかけられるなど	18	10	20
	その他(道にロープを張る)			
合 計		34	31	44

・平成27年度
※注1(10/20流山市)
・平成26年度
※注1(6/17市原市)
(7/25松戸市)

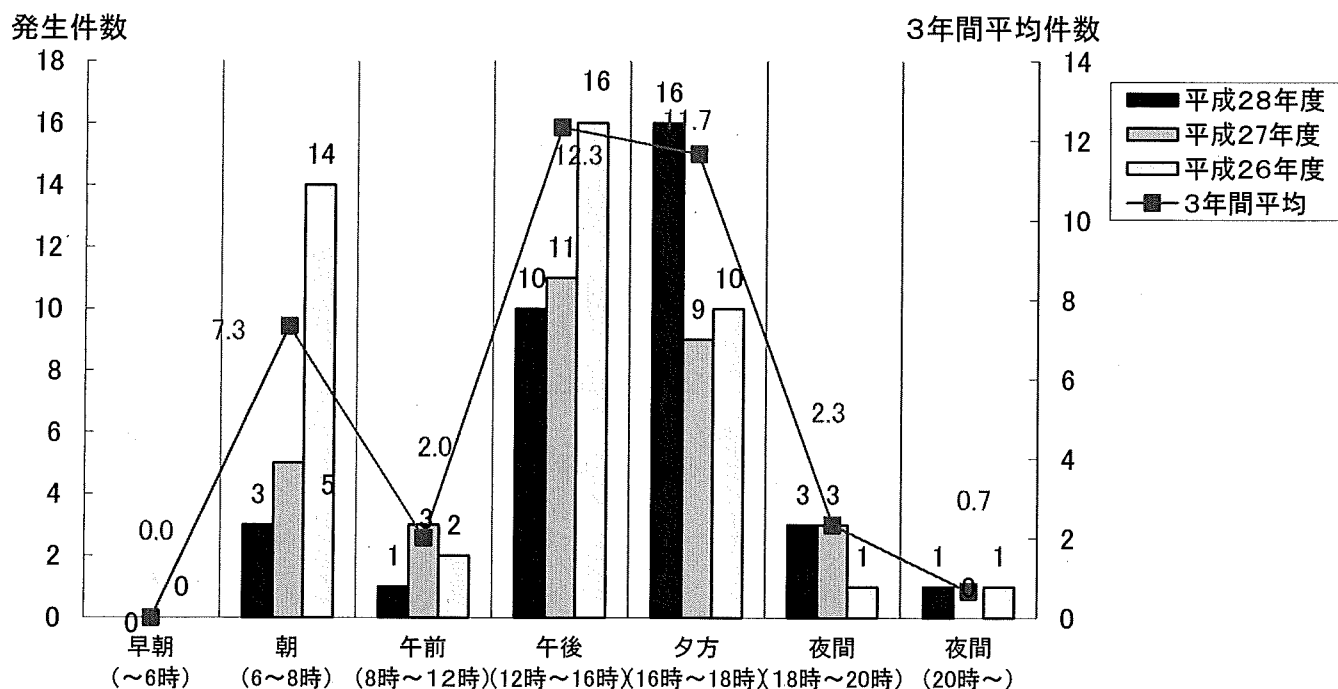
○月別不審者情報件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	5	4	4	2	0	6	6	1	4	2			34
平成27年度	4	1	4	2	0	3	2	4	2	1	4	4	31
平成26年度	4	3	7	8	1	2	1	8	4	1	3	2	44



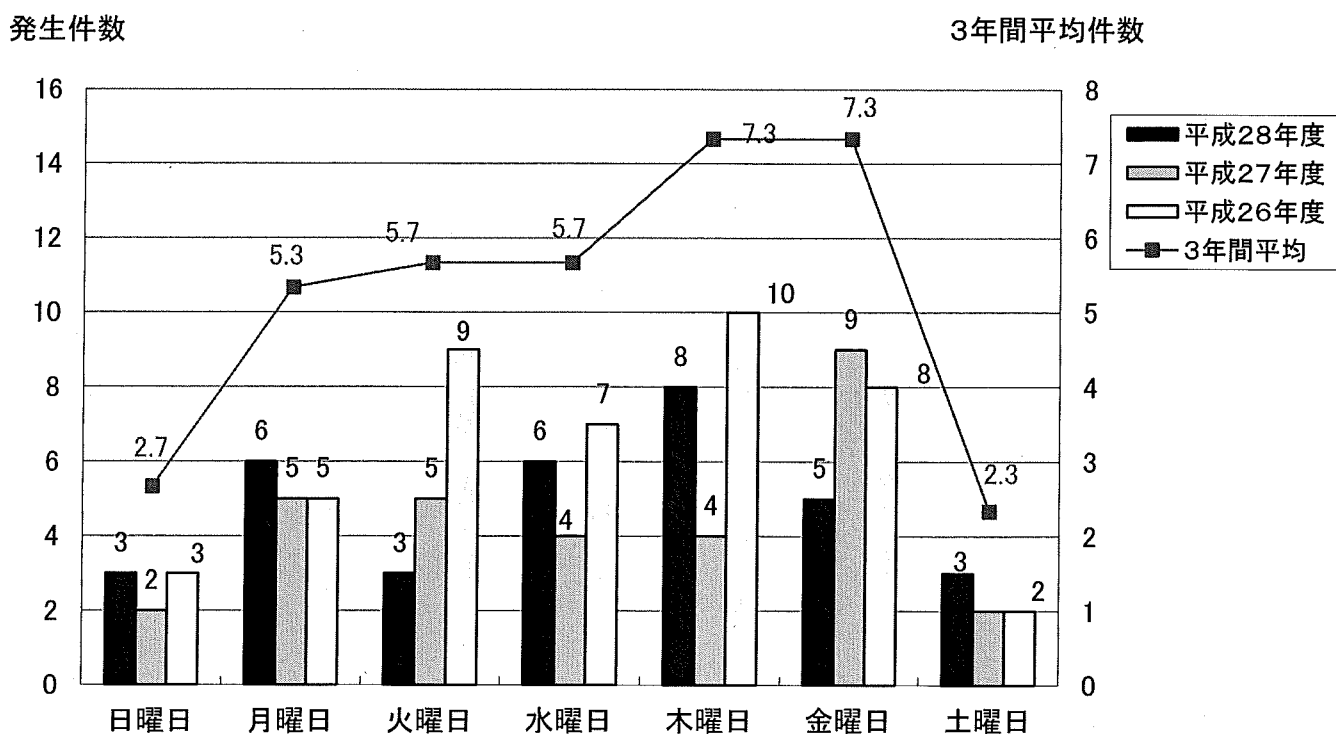
○発生時間別不審者情報件数

	早朝 (～6時)	朝 (6～8時)	午前 (8時～12時)	午後 (12時～16時)	夕方 (16時～18時)	夜間 (18時～20時)	夜間 (20時～)	合 計
平成28年度		3	1	10	16	3	1	34
平成27年度	0	5	3	11	9	3	0	31
平成26年度	0	14	2	16	10	1	1	44



○発生曜日別不審者情報件数

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計
平成28年度	3	6	3	6	8	5	3	34
平成27年度	2	5	5	4	4	9	2	31
平成26年度	3	5	9	7	10	8	2	44

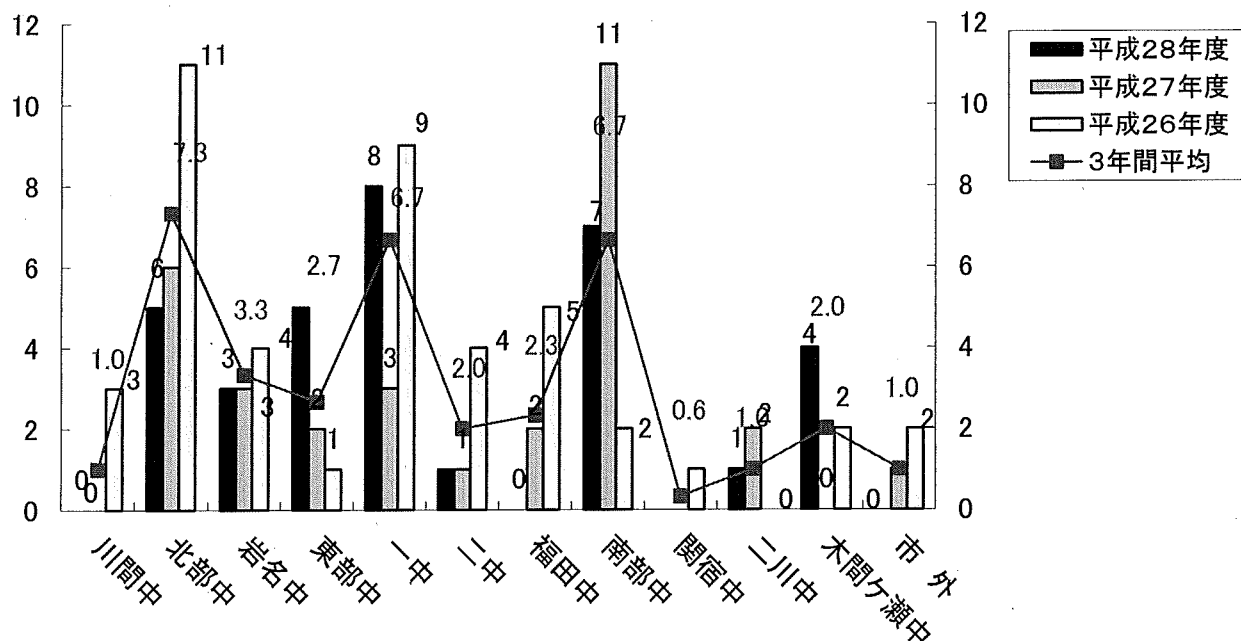


○発生地区別不審者情報件数

学校区	川間中	北部中	岩名中	東部中	一中	二中	福田中	南部中	関宿中	二川中	木間ヶ瀬中	市 外	合計
平成28年度	0	5	3	5	8	1	0	7	0	1	4	0	34
平成27年度	0	6	3	2	3	1	2	11	0	2	0	1	31
平成26年度	3	11	4	1	9	4	5	2	1	0	2	2	44

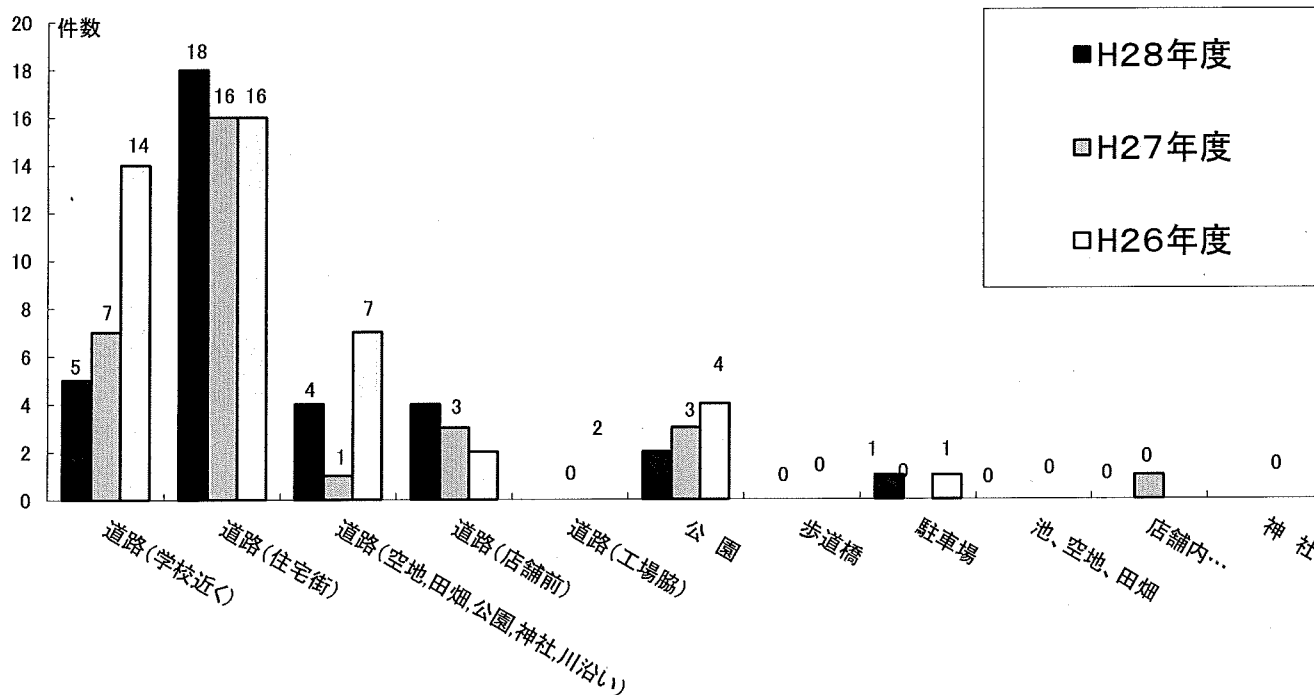
発生件数

3年間平均件数



○発生場所別不審者情報件数

場 所	道路(学校近く)	道路(住宅街)	道路(空地、田畑、公園、神社、川沿い)	道路(店舗前)	道路(工場脇)	公 園	歩道橋	駐車場	池、空地、田畑	店舗内建物内	神 社	計
H28年度	5	18	4	4	0	2	0	1	0	0	0	34
H27年度	7	16	1	3	0	3	0	0	0	1	0	31
H26年度	14	16	7	2	0	4	0	1	0	0	0	44

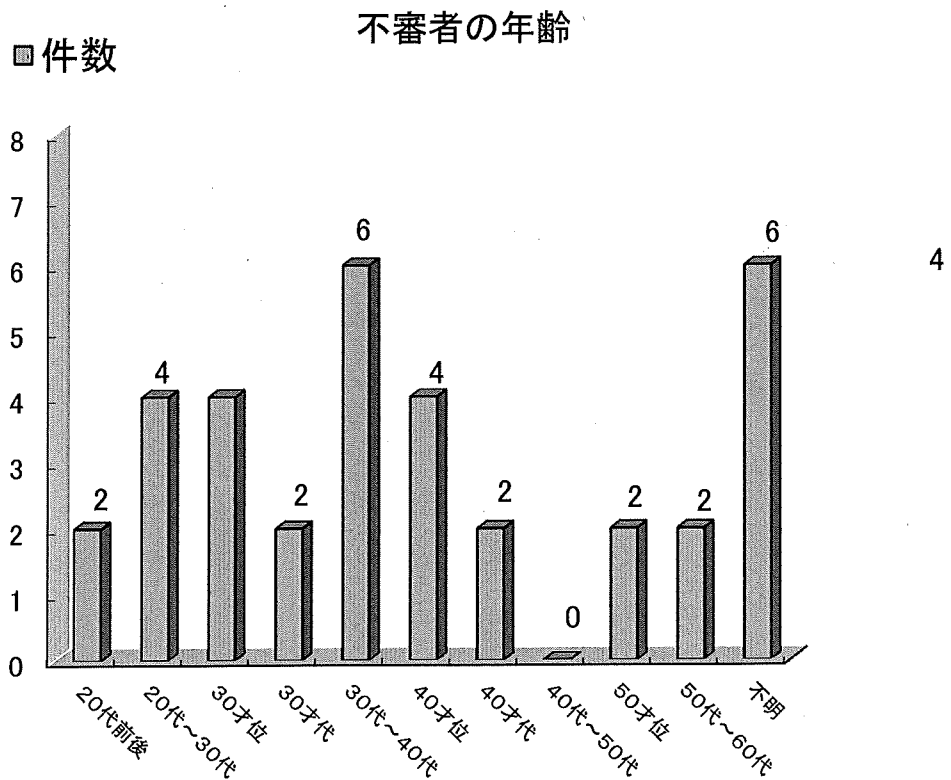
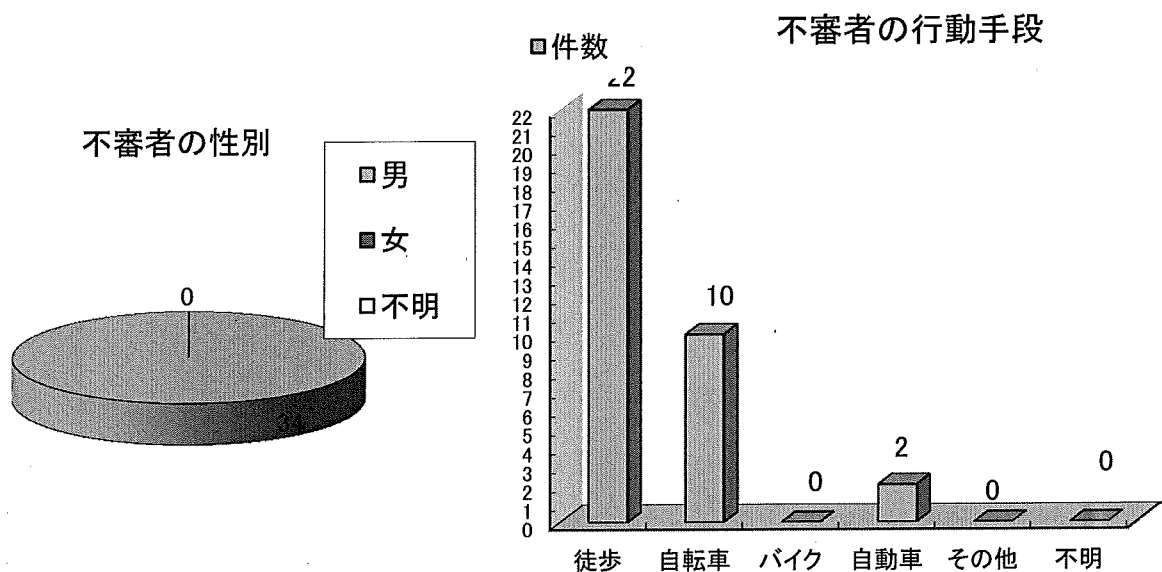


○平成28年度不審者人物像

性別	男	女	不明
件数	34	0	0

年齢	20代前後	20代～30代	30才位	30才代	30代～40代	40才位	40才代	40代～50代	50才位	50代～60代	不明
件数	2	4	4	2	6	4	2	0	2	2	6

行動手段	徒歩	自転車	バイク	自動車	その他	不明
件数	22	10	0	2	0	0



平成28年度 不審者発生場所 (H29. 1. 31 現在 34件)

東経: 139°51'50.96"
北緯: 36°00'35.64"
縮尺: 1/59,768

